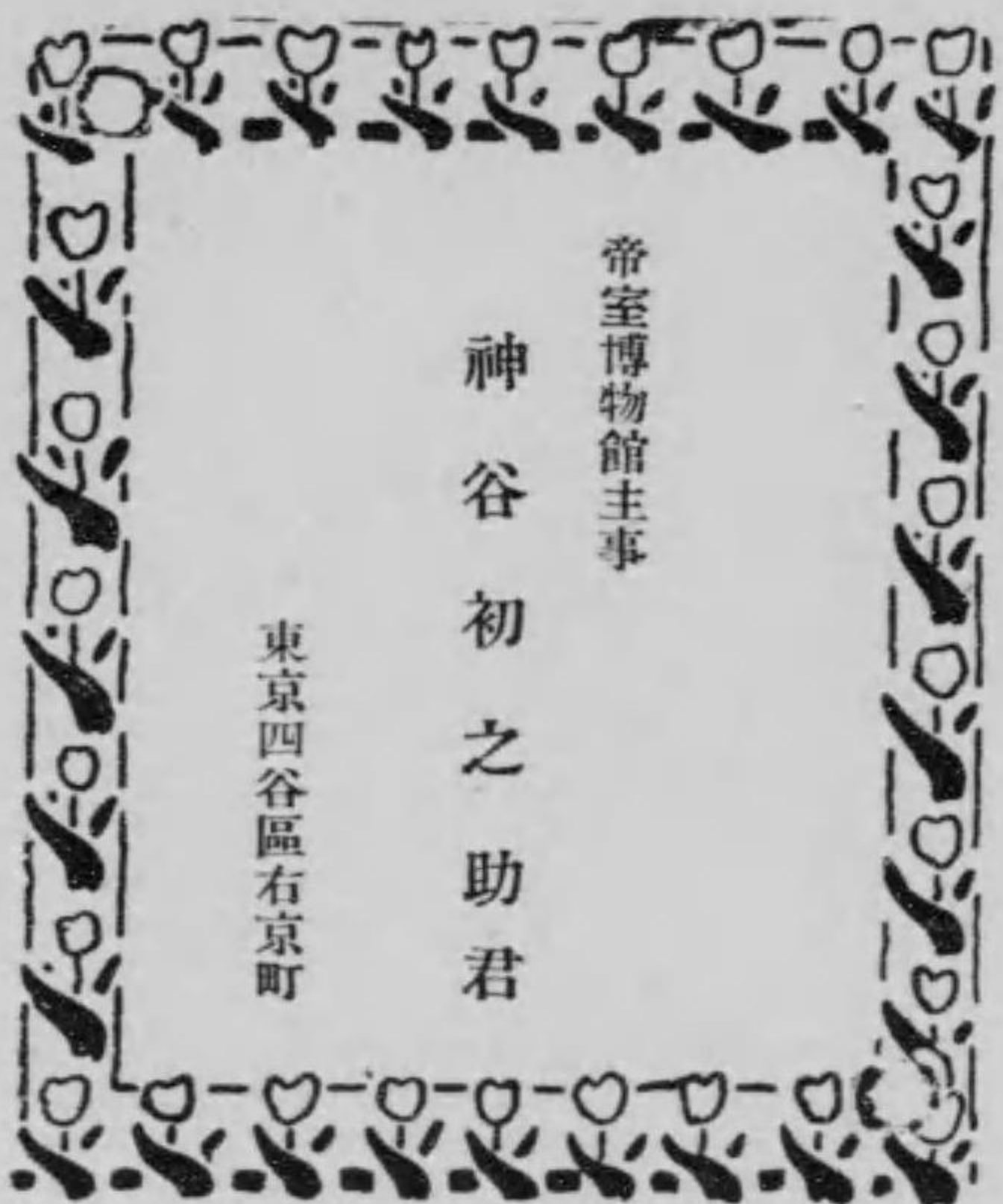




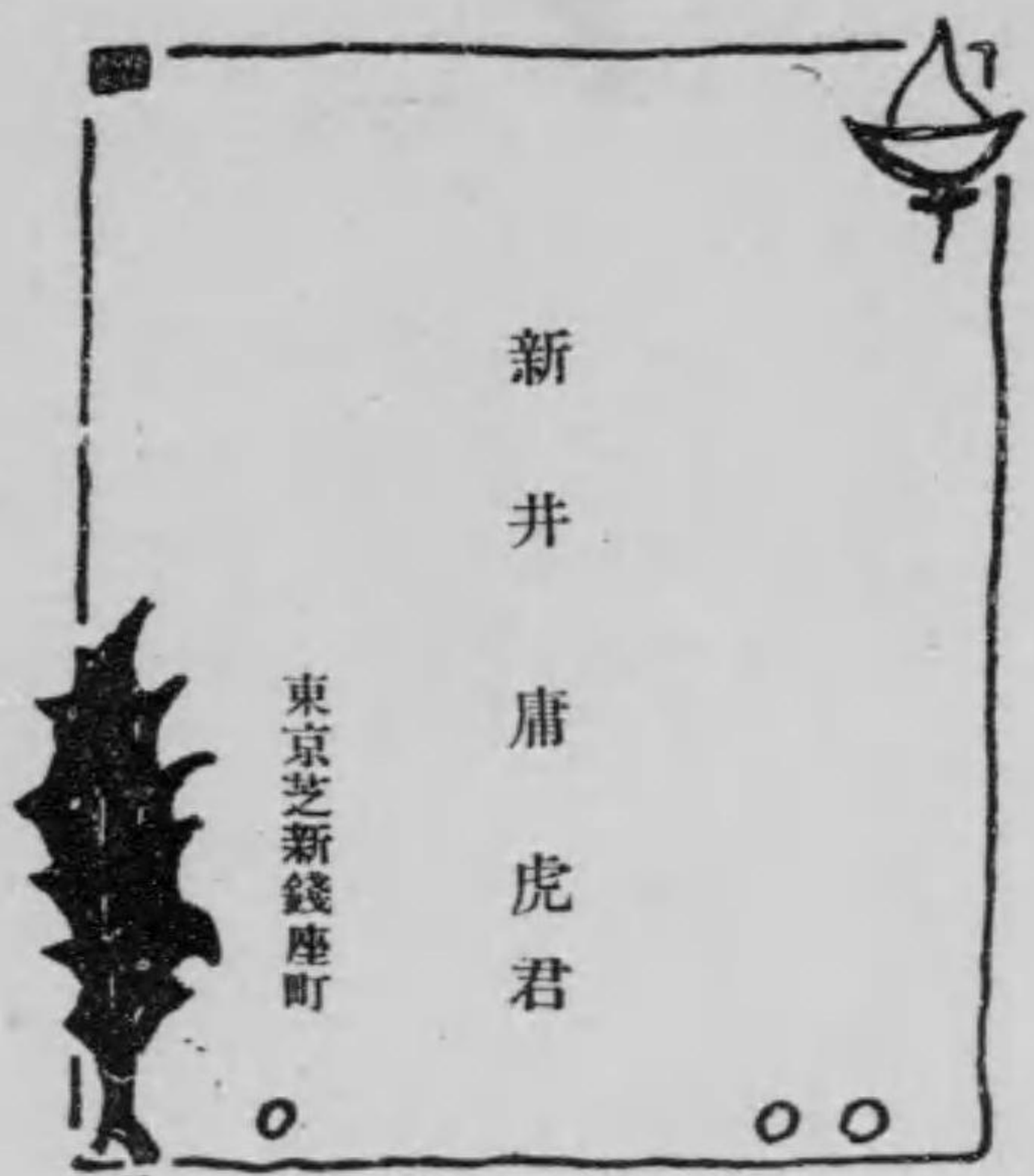
電氣工事設計請負
小寺商會君
東京芝區露月町十六



逓信省官吏
遠藤進一郎君
東京市青山
原宿二〇五



帝室博物館主事
神谷初之助君
東京四谷區右京町



新井庸虎君
東京芝新錢座町

■商事會社主ナルモノ

造船業 江崎造船所
鳥羽港

造船業 合資鳥羽造船所
鳥羽港

造船業 合資的矢造船所
的矢村

合名濱山銀行
濱島村


東洋水產株式會社
鳥羽町

株式鳥羽商會
鳥羽町

株式三重沃度製造所
鳥羽町



特許局技師
兼農商務技師
從五位 工學士
押田 翼君
東京小石川區水道町
四二(鳥羽町出身)



王城炭礦株式會社社長
株式會社日本工商銀行頭取
株式會社東京貯金銀行頭取
川合 芳次郎君
東京芝區二本橋一
五二(志摩郡出身)



東京興信所理事
堀井 卯之助君
東京芝區金杉新濱町一
(志摩郡出身)

志摩郡資産家

○鳥羽町

- | | |
|--------|--------|
| 御木本幸吉 | 阿部平吉 |
| 稻垣長敬 | 藤本徳兵衛 |
| 廣野藤右衛門 | 押田翼 |
| 林才吉 | 角利助 |
| 山田八左衛門 | 小川水路 |
| 井上清五郎 | 吉田謙介 |
| 菊澤庸 | 鶴田丘一 |
| 鶴飼九左衛門 | 大岩義和 |
| 淺井良藏 | 角佐五右衛門 |
| 幸野米吉 | 中世古代次郎 |
| 淺野豐太郎 | 出口喜十郎 |
| 井村善右衛門 | 西井平左衛門 |
| 久富銀彌 | 山田宗三郎 |
| 北村喜代吉 | 岩田文助 |
| 中山半右衛門 | 三浦彦吉 |
| ○答志村 | |
| 中村與助 | |
| ○加茂村 | |
| 中村民助 | 河村清一 |
| 澤原楠太郎 | 井村金吾 |
| 北川市太郎 | |
| ○長岡村 | |
| 中村辰平 | |
| ○國府村 | |
| 羽里才之助 | 鍋島門吾 |
| 田口半四郎 | |
| ○磯部村 | |
| 西岡敏助 | 加藤賢之助 |
| 谷口幸之助 | 一木多賀松 |
| 谷崎幸治 | 向井久吉 |
| ○船越村 | |
| 山越友吉 | 山崎正推 |
| 橋爪貞次郎 | 中村芳松 |
| 山崎ひさ | 小林庄藏 |

■伊 賀 國

東は伊勢西の半部分山城に他の半部と南は大和北は近江、東西七里南北九里面積七十三方里餘往古は伊勢の一部、天武帝の御宇に本國を建つ中世幾多の變更ありて、徳川時代には藤堂高虎の領地にして舊高九萬九千五百四十石にして元は四郡なりしが今二郡となる。

高塚山、茶臼山、青蓮寺山、大嶽山、靈山寺山、加太山、長野嶺、笹ヶ嶽、高施山等有名なり。河川伊勢川、名張川、柘植川、服部川ありて水利便なり。

上 野 町

上野町は伊賀の政治商業の中心にして阿山郡役所、區裁判所、稅務署、縣立第三中學校、圖書館あり繁榮なる町は向島町、西町、東町、赤坂町、本町にして公園は舊城にあり一名を白鳳城と稱す規模宏大にして輪奐の美を極めたりしが、廢藩後多くは破壊して今は石疊を殘すのみ、此地第三紀丘陵の上に位し劈頭に立ちて瞻望すれば翠松老櫻の間伊賀盆地の風光を一眸の中に集むるを得。町の附近廣禪寺、念佛寺は有名の巨刹にして芭蕉の故郷塚あり、鍵屋の辻は荒木又右衛門復讐の地今井山には今井兼平の墓あり岩倉峽は激流を以てて名あり水力電氣發電はこの激流を應用す。敢國神社は國幣中社にして府中村大字一ノ宮にあり。玉瀧寺は玉瀧村に、觀菩提寺と謁井とは島ヶ原村に、新大佛寺は阿波村にありて何れも有名なり。檜塚と井搦山は布引村の廣瀬に、馬野溪は大字中馬野に在り。又花之木村等夜野は昔

の遊獵地にして千戸村の古墳は山田村佛光寺境内にあり。

名 張 町

名賀郡役所の所在地にして、稅務署あり名張第址あり彌々繁盛の地なり、名張川は一名を梁瀬川又は東川とも稱す古歌に「やなせ川ふちとさだめぬ世」とけば我身を淡くたのまれどする」と云へるは此川の下流を詠ぜしなり、鮎の名産なり、町の名産葛樞油名あり又松茸香茸を産す。

附近南方二里の山麓延壽院と稱する世に赤目四十八瀧の名勝あり、院より溪間に沿ひ登ること二町にして行者瀧に達すこれより以上不動、布引、荷擔、琵琶等の瀑布ありて頃者荆棘を拓き峭厲を夷らげ登山に便ならしめたり世に傳ふに行者この山を開きし時不動明王赤目の牛に騎して道案内をなせしと云ふ故に其名あり。脫塵の仙境にして探勝家は一度は足を入るゝまた妙なり。

天真名井、一名寄生清水猪田村に、古蹟花垣庄は花垣村大字市野、蘭若池も同地にあり、穴穂宮は神戸村に、加納神社は美濃波多村に、名居神社は比奈知村に又大字瀧の原には赤岩尾の勝地あり。杉谷神社は藏持村にありて何れも古蹟を存す。

寶嚴寺 阿保村に、草薺寺は種生村にあり。曾ヶ岳は登り五十町にして奇勝多く探勝の地たり、延壽院 瀧川村大字一井に在りて國內屈指の淨域たり又此地に道觀長者宅址あり。



東京市吏員
東京本所南二葉町八
山中國之助君

(身出村津上郡賀名)



從五位男爵
藤堂憲丸君

(町張名)



陸軍歩兵中尉
從七位
中井良太郎君

一〇七谷澁中市京東



コルク直輸入商

豆本熊次郎君

東京淺草區駒形町五
(阿山郡山田村中村出身)



官吏正八位

西田猪之輔君

東京市芝三田四丁目
(伊賀出身)



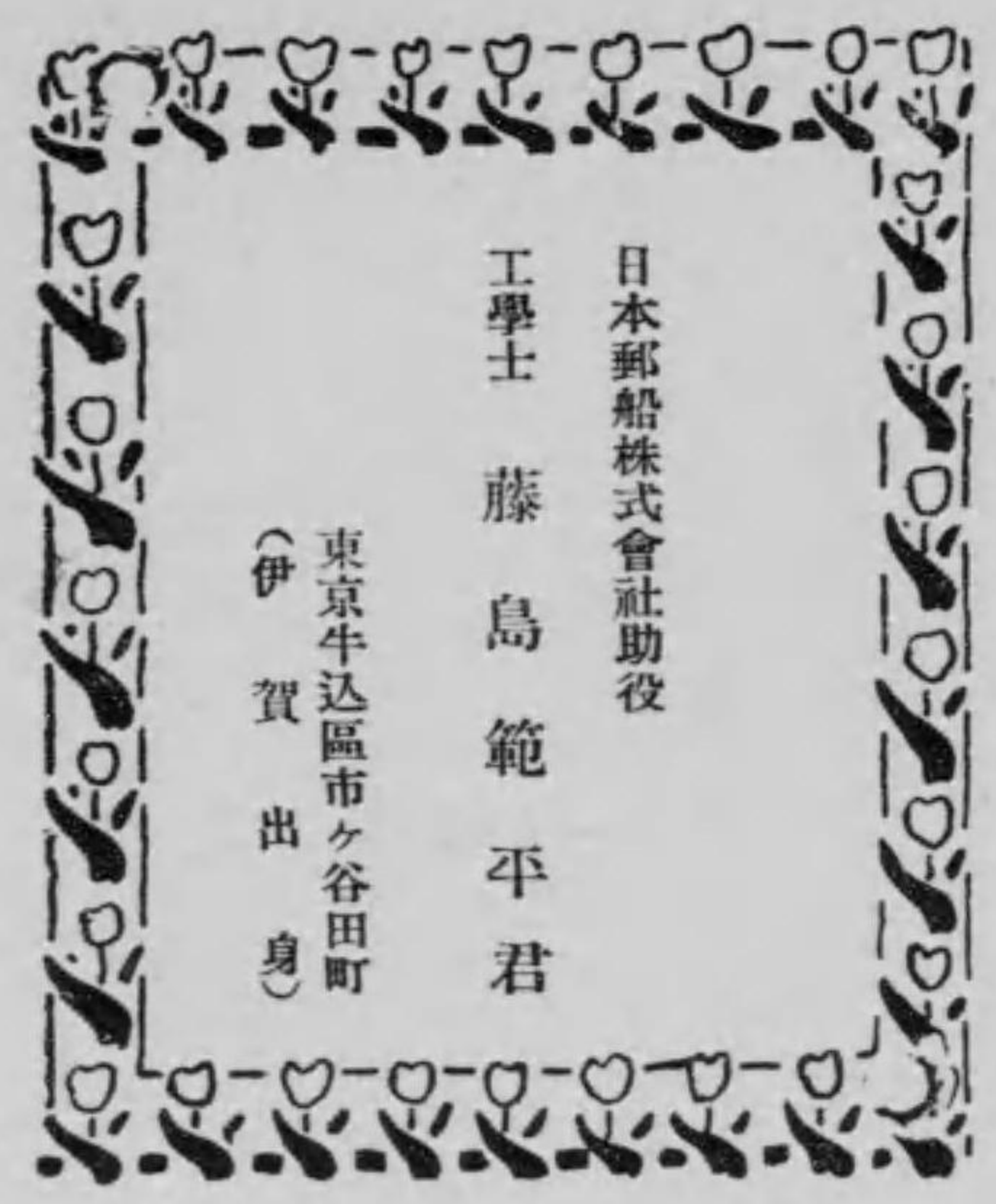
東京高等師範學校教授
從五位

乙竹岩造君

東京小石川小日向壠町
三ノ九(上野町出身)



絹毛紡績會社取締役
 増地 三之助君
 東京府下集鴨町上駒込
 (伊賀出身)



日本郵船株式會社助役
 工學士 藤 島 範 平君
 東京牛込區市ヶ谷田町
 (伊賀出身)



辯護士 町井鐵之介君
 東京京橋區南鍋町
 (伊賀出身)

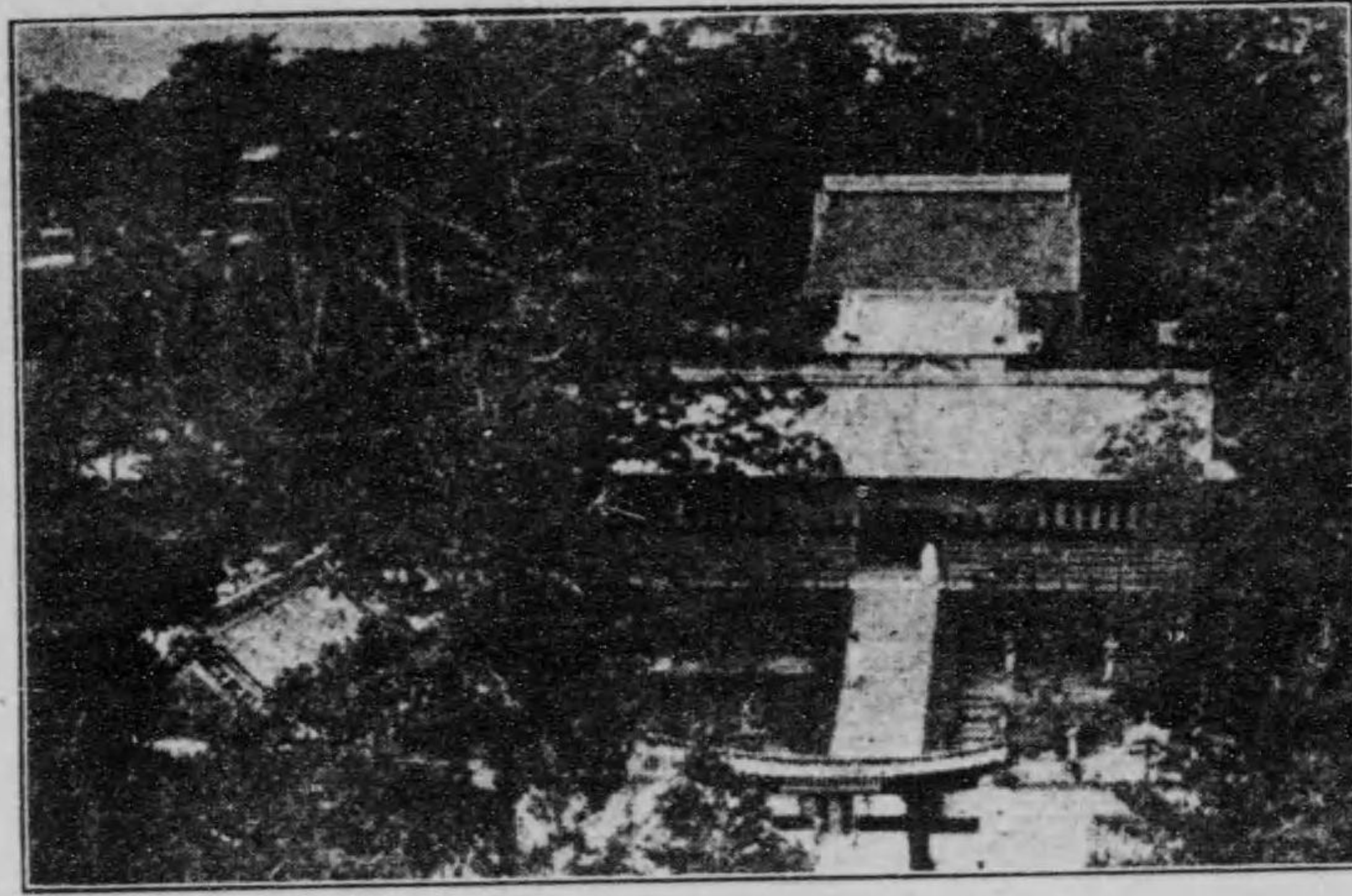
- | | |
|---------|----------------|
| 桑名警察署 | 桑名町 |
| 大泉原警察署 | 員辨郡大泉原村 |
| 四日市警察署 | 四日市大字濱町 |
| 龜山警察署 | 鈴鹿郡龜山町 |
| 神戶警察署 | 河藝郡神戶町 |
| 一身田警察署 | 河藝郡一身田町 |
| 津警察署 | 津市大字大門町 |
| 久居警察署 | 一志郡久居町 |
| 松坂警察署 | 飯南郡松坂町 |
| 相可警察署 | 多氣郡相可村 |
| 宇治山田警察署 | 宇治山田市
大字岡本町 |
| 上野警察署 | 阿山郡上野町 |
| 名張警察署 | 名賀郡名張町 |
| 烏羽警察署 | 志摩郡烏羽町 |
| 尾鷲警察署 | 北牟婁郡尾鷲町 |
| 木本警察署 | 南牟婁郡木本町 |



錦鷄問祇候
 佐藤 秀 顯君
 東京芝區白金今里町
 (伊賀出身)

官 衛

阿山郡役所 上野町
 上野區裁判所 上野町
 上野區警署 上野町
 上野區警察署 上野町
 上野郵便局 上野町



阿山郡府中村國神社

東京女子高等師範學校教諭
 兼第六臨時教員養成所教授
 從六位 竹島茂郎君
 東京小石川原町一八
 (阿山郡花ノ木村出身)

上野桑町 佐那具屋
 米穀輸出屋 米田辰次郎
 電話長二〇七

上野町字惠比壽町
 肥料卸商 濱田銀之助

上野幸坂町 ほしか屋
 内外肥料商 西久保六右衛門
 電話長二四

上野一力屋町
 肥元賣捌 福山治助
 電話長二九

友生村 稻森新三郎
 酒造 電話長二四五

上野町 海津三郎
 日本海 電話長二二〇

同 瀧本良吉
 東天紅 電話長二〇

同 筒井喜一郎
 佐保姫 電話長一一

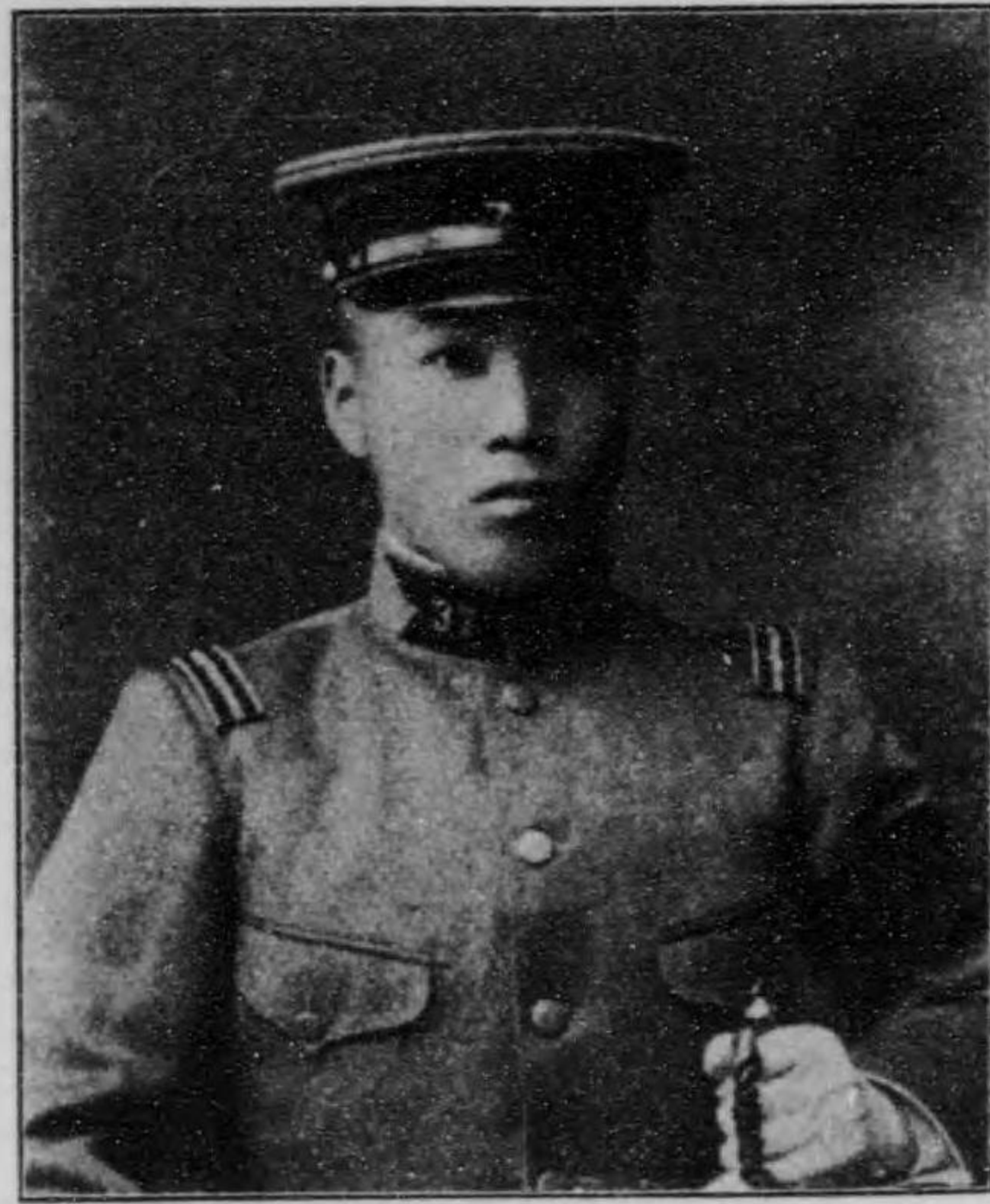
同 山戸議平
 富士正宗 電話長一三四

同 淵田千太郎
 笹正宗 電話長四五



步兵第九聯隊
陸軍步兵特務曹長勳七等功七級
川村捨之助君

(身出村植拓西郡山阿)



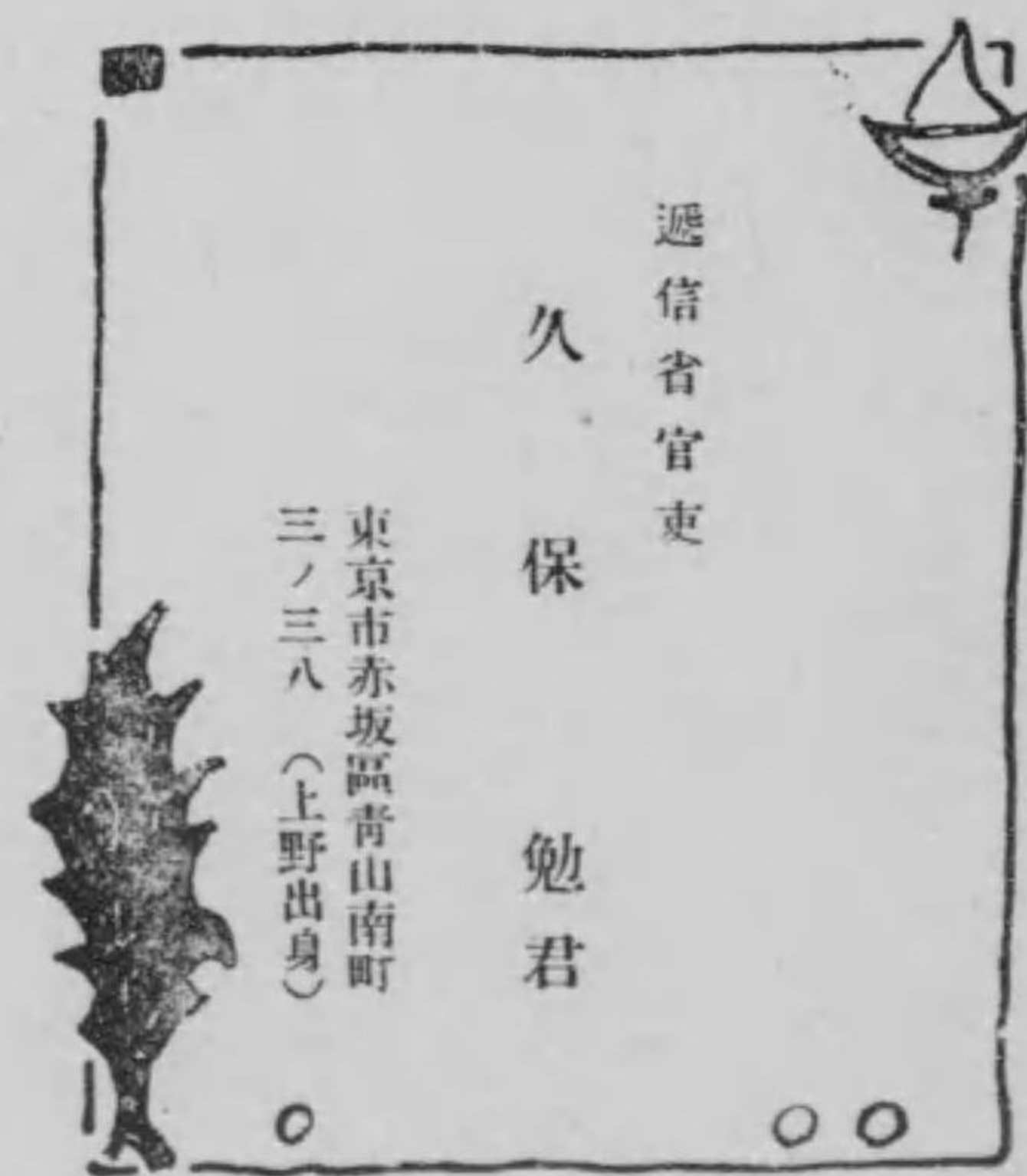
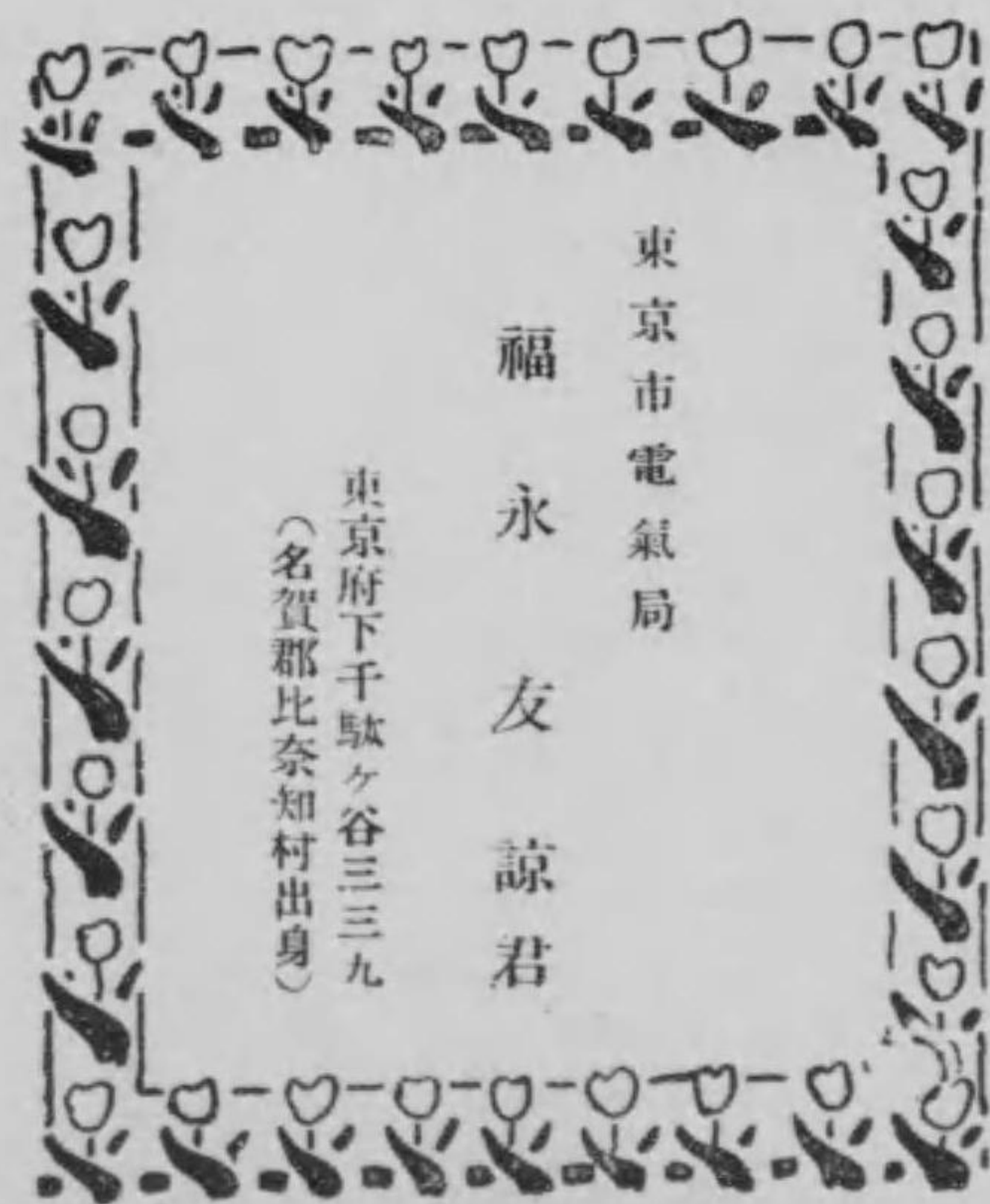
步兵第三十七聯隊
陸軍步兵中尉從七位
西出宇之助君

(身出村田小郡山阿)

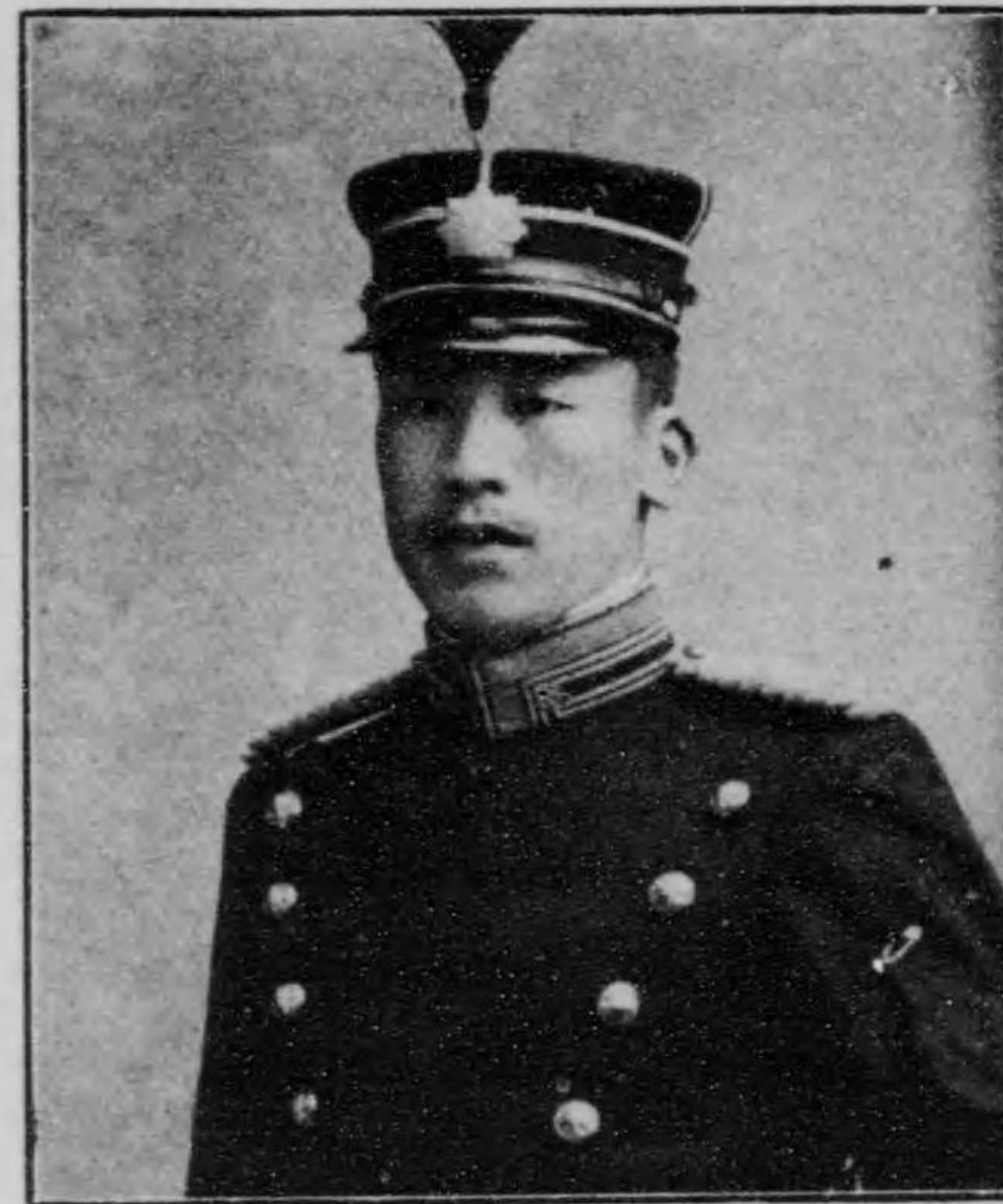


步兵第九聯隊
陸軍步兵少尉正八位
森田千代松君

(身出村植拓西郡山阿)



步兵第九聯隊
陸軍步兵少尉正八位
宮田金之助君



(身出村植拓東郡山阿)

步兵第九聯隊
陸軍步兵特務曹長勳七等功六級
奥清太郎君



(身出村引布郡山阿)

步兵第九聯隊
陸軍步兵特務曹長勳七等功七級
倉田晃義君



(身出村引布郡山阿)

同 上野町 福田彦七
萩の露 電話長一四五

同 小田村 森川傳七

同 上野町 管野喜三郎
朝服樓 電話長六六

上野農人町 橋本甚五郎
醬油醸造 佐那具屋 電話長一〇八
木材業

上野本町 橋本甲子造
味噌溜り 橋本支店 電話(ハカ)
衛生餅取粉

上野農人町 奥瀬平十郎
醸造油業 細平 電話略コマ(又)コ

上野町字西町 松生安藏
醸造油業 紙安 電話長一六一 電略カミヤ

同 町小玉町 武兵衛
海産物 星 電話長一七 電略ホシ
問屋物 なべや

同 町農人町 谷村佐助
吳服商 紅屋吳服店 電話長五〇 電略タニサ
太物商

同 町車坂 北村屋有慶
伊賀名物 菊堂
芭蕉翁遺芳果 電話長一三七
櫻と櫻本舗

信用アル商店名

上野町 洋酒卸商 田中鹿之助
電話一三二

上野町 藥種商 新力 兵衛

上野町 藥種商 田山吉右衛門

上野町本町通 和洋貨商 スガノ雜貨店
電話長二三五

上野農人町 小間物囊物 香油製造 美山甚助

上野福居町 水引元結 特許改良燃 製造卸 吉田熊吉本店
振替東京一五六七一

上野魚町 陶器卸賣商 内金本店 田金治
電話カネニ

上野本町 兼土木建築 請負 福森安次郎
電話長五五 電略フヤ

上野本町 旅人宿 吉川米藏
電話長四八

上野本町通中町 御旅館 曾我忠兵衛
電話長一二一

上野新町 旅館 八百新 尾治
電話長二〇

上野幸町 染物業大同 藍株式會社 西久保六右衛門
特約店 電話長二四電略ニシ

上野町大字東町 資本金 株式會社 伊賀上野銀行
三十萬圓 電話長(一)一三三

上野町大字中町 資本金 株式會社 八十三銀行
五十萬圓 電話長八番三番(電略八三)

阿山郡山田村 銀行業 株式會社 伊山銀行

上野町福店町 巖倉水電株式會社

島ヶ原村 伊賀耐火株式會社

上野町忍町 東海製糸株式會社

阿山郡三田村 上野貨物運送株式會社

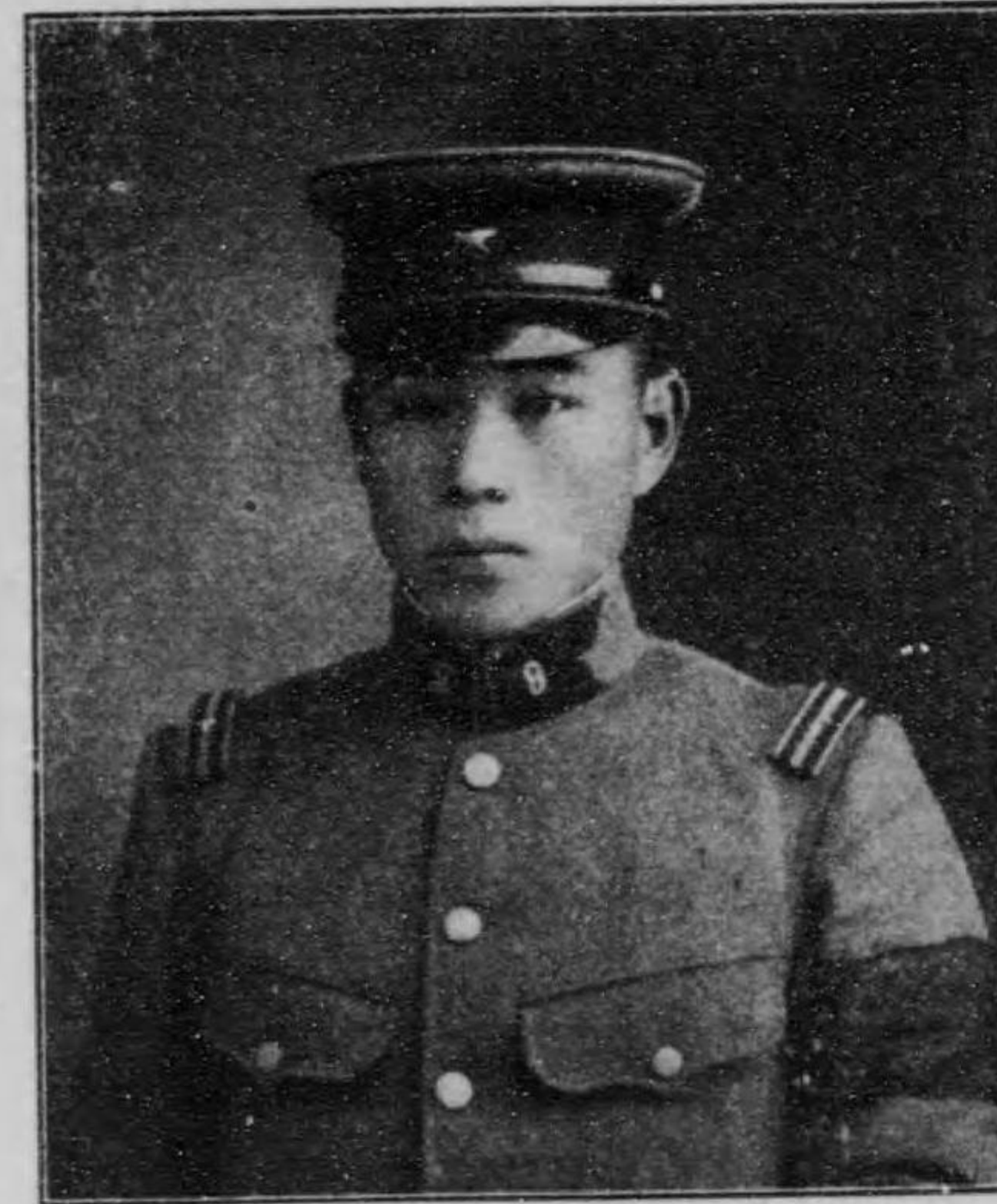
郡 賀 名

武 錦 箕 比 國 古 依 神 阿 種
 持 生 曲 奈 津 山 那 戸 保 生
 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村
 薦 瀧 花 比 美 上 矢
 原 川 垣 目 濃 津 持
 村 村 村 村 波 村 村 村



(身出村山古郡賀名)

陸軍歩兵中尉
 正七位勳五等
 吉住良輔君
 東京四谷傳馬町一ノ三七



(身出村垣花郡賀名)

步兵第九聯隊
 陸軍歩兵少尉正八位
 上島良雄君



(身出村川瀧郡賀名)

步兵第九聯隊
 陸軍歩兵少尉正八位
 上田卯一君



陸軍歩兵少佐
 從六位勳四等功五級

濱田信太郎君

步兵第十八聯隊附
 (伊賀出身)



(身出村岐目比郡賀名)

東京市吏員
 增田熊太郎君
 東京市本所綠町五ノ二五

北牟婁郡

尾鷲町 本郡の南端に在る港邑、近郷の貨物は此處に輻輳し、名古屋、大阪方面へ運輸するを以て、市内頗る賑ひ、豪商も少なしとせず、津市へ三十里三十町、新宮へ十四里二十町餘、町内に尾鷲神社あり。

中村山 眺望に宜しく、漁舟の波間に漂ふ長鯨の太平洋に潮ふく、島嶼の點在する、すべて手に取らるべく、又花紅葉や月を賞するによき處。

庫の溪の竹林 尾鷲より十町餘、江南竹の叢林あり、長さ二十尋より二十五尋に達し、枝葉は僅かに尖頭に着き、風に搖げば雲の行き交ふに似る。

孝子の墓 相賀村大字小山の長泉寺に在り

南牟婁郡

木本町 熊野街道の一驛、舊藩の頃は代官を置かれし所、海濱には港灣を有し、縣下の名港及び和歌山縣の諸港と交通頻繁なり。

七里ヶ濱 木本以南、新宮に至る間の稱。尊雅王の遺跡 前記木本より二里二十町、大阪街道に沿ふたる、飛鳥村の興福寺に在り、表門に「南帝尊雅王所遺跡、神之山御所、寶鏡院興福寺」と記せる木札を建て、あり。

稻飯命 三毛入野命の神祠、所在は荒阪村。花の窟 高さ百七十尺、幅三十間許の巨岩、巖々として海上に屹立し、岩頭の松より百尋餘の注連を並木の松の梢に繋ぎかけ、上方に繩もて編み作れる長さ七尋の幡三個を下げ、岩下に玉垣を繞らし、火の神を祀る所在は有井村大字有馬の海岸。

醫師 下平文柳君
東京本郷湯島新花町三三



(身出村志呂尾郡南)

醫師 西實之助君
東京京橋區木挽町一ノ十一



(身出村山志神郡婁南)

公吏 濱口儀藏君
東京四谷舟町六十一



(身出村内輪南郡婁南)

文部省督學官
 正五位勳五等
 生駒萬治君
 東京小石川區原町一三三
 (南牟婁郡尾呂志村出身)

通信技師兼通信局技師
 正六位
 工學士宮井誠吉君
 東京小石川小日向臺町二ノ六
 (北牟婁郡尾鷲町出身)



步兵五十一聯隊
 陸軍步兵大尉從六位勳五等
 東悅次郎君

(身出郡婁牟南)

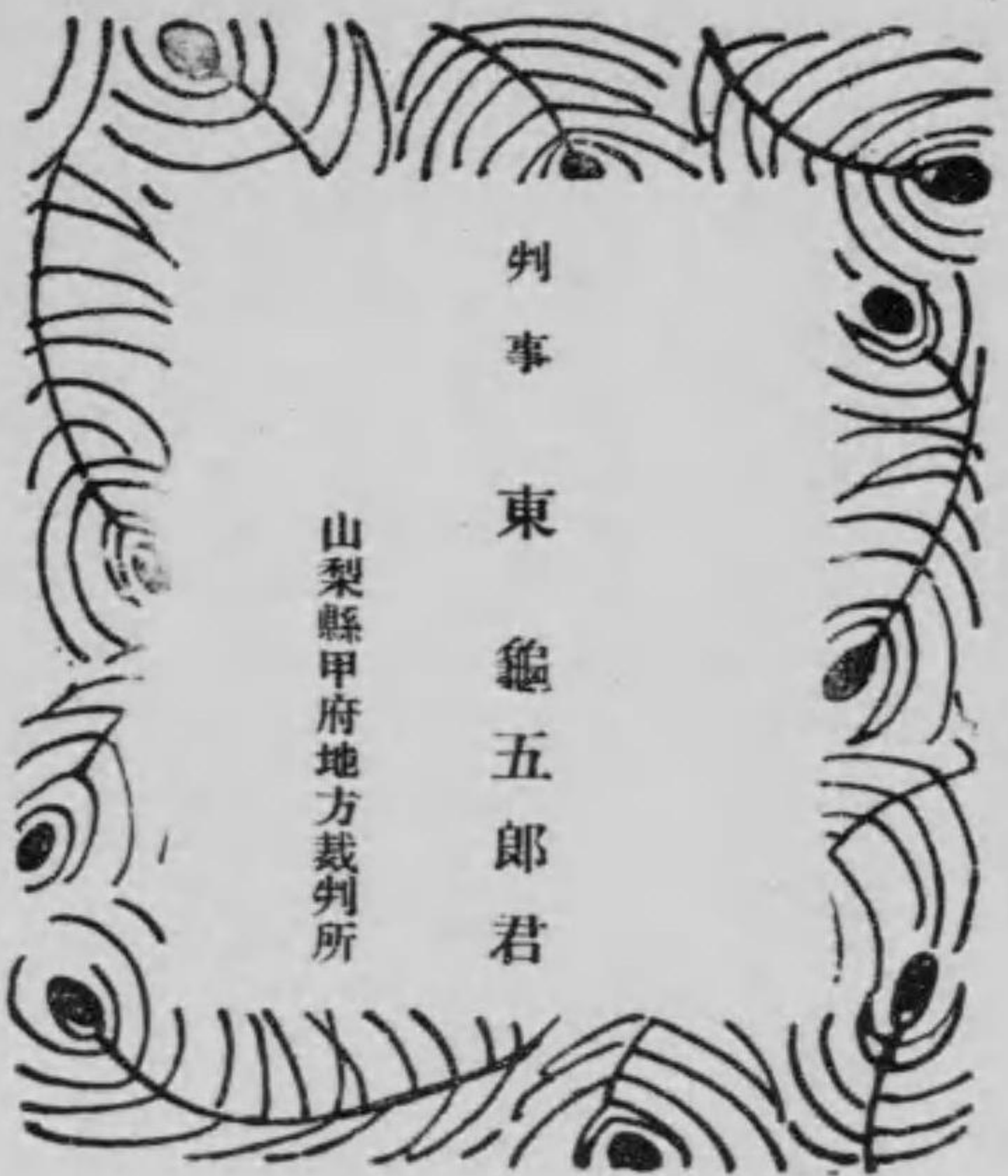
醫學士加藤豐次郎君

大井卜新君
 東京赤坂田町五ノ四

文學士佐々木兼若君
 神奈川縣鎌倉町



林業家
楠 三郎兵衛君
北牟婁郡船津村



判事 東 龜五郎君
山梨縣甲府地方裁判所



川口和太郎君
北牟婁郡三野瀬村



西村繁之助君
南牟婁郡木本町

■三重縣現時ノ郡市長

津市	内多正雄
四日市市	飯田盛敏
宇治山田市	福地由麿
桑名郡	大井順之助
三重郡	今村直橋
員辨郡	西 大次郎
鈴鹿郡	小森安太郎
河藝郡	山中恒三
安濃郡	片岡宇太郎
一志郡	川島的吉
飯南郡	川田茂通
度會郡	北野孝一
河山郡	石井義忱
名賀郡	大山元史
志摩郡	鎌田 千代之助
多氣郡	須田松太郎
北牟婁郡	水原壽一
南牟婁郡	平賀正文

■ 温 泉 案 内

○ 湯の山温泉

三重郡菟野町にあり(單純泉二十九度)にし
て一名鹿ノ湯と稱す、四日市を距る西北五
里菟野市街に到る三里八丁間腕車を通ず菟
野驛よりは道路概ね宜しからず泉は湯の山
と稱する山腹花崗岸地より湧出し、泉源三
所あり銅管木算寺を以て之れを導く此の地
海拔三百十八米にして、眺望開濶遠く伊勢
内海を俯瞰し、山中の奇勝と相俟つて四時
の觀望に富み浴客頗る多し。

○ 御館鑛泉

三重郡西坂部村にあり(炭酸泉十六度)にし
て第三紀層田畝の間より湧出し四日市を距
る西北僅に二里にして道路良好なれば浴客
亦多し。

○ 榑原温泉

一志郡榑原村湯之山の山麓溪流の傍なる第
三紀層平野より湧出す(純泉二十四度)津市
の西方四里の地にあり井桶を設けて之れを
瀦す其湧出量は時に増減す。

○ 湯屋谷温泉

名賀郡の湯屋谷にあり(單純泉十度)上野町
の西南二里餘の處なり、泉は第三紀の丘陵
中より流出す四邊石を疊んで之を瀦す其底
淤泥多く頗る不潔を極むるも諸病に效あり

○ 有久寺温泉

北牟婁郡長島町の西北一里を距つる島原に
あり(單純泉十七度)秩父古生層中より湧出
し、木槽を造りて泉池となす諸病に效あり

○ 潮の湯温泉

多氣郡丹生村にあり(鹽類泉十四度)にして
松坂町の西南三里十二丁なり山峯遠く四面
を圍み、地勢平坦風景佳なり泉は神宮寺の
西一町を距つる片麻岩地より湧出し泉水無
色透明にして、味軟甘なり。本村は昔日僧
空海留錫の地にして、山間靈場頗る多しこ
の泉潮氣を帯び能く百病を醫するは其功德
なりと稱し、御潮井の名あり浴客頗る多し

○ 大ヶ所温泉、野後温泉、阿曾温泉

多氣郡宮川の上流大ヶ所村字川岸にあり、
(炭酸泉十四度)なり、東は大内山川に沿ひ
南は度會郡野後村に隣り西北は菅合村に接
す、泉は大内山川の西岸の秩父古生層中よ
り湧出し川面より高さこと僅かに一米餘に
過ぎざれば、漲水の時は川水を混す。隣村
なる野後村の野後温泉(炭酸泉十四度)は阿
瀬秩父古生層より湧出す山田町より距る西
南凡そ八里餘古和浦を距る西方四里路險に
して行旅不便なり、又南方僅か一里にして
阿曾温泉(炭酸泉二十三度)なり地勢高燥に
して泉は村路の傍より湧出す井状をなし居
り無色透明無臭にして刺戟性の鹽味あり。

大正五年五月十日印刷
大正五年五月十五日發行

發行者

三重縣案内刊行會

代表者兼編輯者

東京市赤坂區丹後町十一番地

森本信次郎

印刷者

東京市芝區愛宕町三丁目二番地

吉田要藏

印刷所

東京市芝區愛宕町三丁目二番地

東洋印刷株式會社

終